

# 平成28年度：第5フェーズの取組方針【概要】 「子どもの力と意欲を高める『芯の通った学校組織』の確立」

- ①「8つの観点」を念頭に置いた学校マネジメントが徹底されていること、
- ②「活用推進プラン」の策定以降、追加的に提示してきた「授業改善の5点セット」等を含め、各種目標達成マネジメントツールが適切に活用され、検証・改善サイクルが機能していること、の2点において、全ての学校で「形」が整っている状態。

## 1. 目標達成マネジメントツールの連動性確保

- ①「学校評価の4点セット」を最上位のマネジメントツールとして位置付け、各種マネジメントツールの相互関連性を意識しながら各種様式・計画を作成。
- ②「学校評価の4点セット」で重点化・焦点化を進めてきたことも踏まえ、学力・体力向上、不登校対策の各プランは別個に作成。
- ③「学校評価の4点セット」に盛り込む事項に応じて「授業改善の5点セット」や学力・体力向上、不登校対策の各プランに同内容を反映。

- ✓ 校種間連携における各種マネジメントツールの活用
- ✓ 「学校評価の4点セット」と「目標協働達成の4点セット」の統合も検討

## 2. 目標達成・組織マネジメントの徹底 - 「8つの観点」に基づく指導・支援 -

### 観点4

- ◆検証・改善の方途を確認（取組・達成状況の確認、指標の妥当性の検証⇒改善方策の検討）
- ◆短期の検証・改善に向けた指標設定の工夫

### 観点5

- ◆教職員評価システムの趣旨を一層徹底
- ◆学校の重点目標・分掌等目標・自己目標の連動に向けた管理職・主任等による適時適切な指導・助言

## 3. 一層の活用の推進 - 学力・体力向上、生徒指導、学校・家庭・地域の協働 -

### 授業改善

- ◆「目標達成に向けた組織的な授業改善」推進手引きの活用 ⇒組織的な授業改善への理解促進、管理職のリーダーシップ、「授業改善の5点セット」等の好事例紹介 等
- ◆中学校における学力向上対策 ⇒「3つの提言」に基づく取組推進、取組状況調査の実施、主幹教諭・指導教諭対象の先進地研修等の実施

### 不登校対策

- ◆「不登校対策プラン」の位置付け、検証・改善方法を明確化
- ◆不登校対策委員会の活性化（地域不登校防止推進教員が支援、定期的開催の徹底）
- ◆SC・SSWの活用促進（子どもの貧困対策を含む）

### 体力向上

- ◆「体力向上プラン」や「一校一実践」の取組の位置付けを明確化⇒検証・改善サイクルの確立
- ◆女子生徒が運動に向かう取組の充実

### 学校・家庭・地域の協働

- ◆目標協働達成の取組を全体的に普及・促進
- ◆CS先進事例の調査・分析⇒導入促進
- ◆学力向上会議の充実に向けた指導・支援

- ✓ 目標協働達成の取組とCSの一体的な普及・促進
- ✓ 国の動向を踏まえ、CSの更なる普及・促進策、学校・家庭・地域の協働推進方策を検討

## 「芯の通った学校組織」の取組の効果検証

- ①「8つの観点」に係る共通の評価基準を設定 ⇒ 全ての項目で「A」到達を目指す
- ②「芯の通った学校組織」定着状況調査の実施 ⇒ 「活用推進プラン」後の展開を検討
- ③教育センターの調査研究機能を強化し、エビデンスに基づく学校教育課題の解決方策を研究

### 学校マネジメント研修の充実

- 研究主任研修（小・中）の新設
- 「OJTの手引き」の活用促進 等

### 教育事務所による指導・支援 ～平準化と更なる向上～

- 年間2回+αの学校訪問（十分な協議時間を確保、客観的データ・目標達成マネジメントツールを用いて協議）
- 主幹教諭・指導教諭等の同席、学校支援センター所長の同席
- クロス訪問の実施、本庁と学校訪問等の組み合わせ
- 市町村教育委員会との連携強化 等

## 4. 推進方策

### 県立学校に対する指導

- 学校マネジメントの推進
  - ・年間2回以上の学校訪問
  - ・主幹教諭・指導教諭等の同席
  - ・地域別・学科別等のグループ別協議の設定
- 学校全体での授業改善の推進
- 学部主事の位置付けの明確化
- 「個別の指導計画」の質の向上

### 研修・会議等の精選（取組を継続）

### その他

- 「教育県大分」創造に向けた地域別意見交換会の開催
- 教育研究団体等の活用
- 県立中学校への指導
- 大分大学教育学部附属小・中学校との連携
- 県内大学等との連携

## 《目標達成マネジメントツール》

### ①学校評価の4点セット

→ 校長のリーダーシップの下、学校教育課題の解決に向けて組織的に取り組むために、重点目標を焦点化・具体化した上で作成する様式のこと（重点目標、達成指標、重点的取組、取組指標）。

### ②授業改善の5点セット

→ 組織的な授業改善に向けて、マネジメントサイクル（PDCAサイクル）を実働させるために作成する様式のこと（授業改善テーマ、授業改善の重点、取組内容、取組指標、検証指標）。

### ③目標協働達成の4点セット

→ 学校の重点目標達成に向けて、学校・家庭・地域が協働して取り組む事項を設定する様式のこと（重点目標、達成指標、重点的取組、取組指標）。

### ④学力向上プラン

→ 児童生徒の学力・学習状況や教育課程の実施状況を踏まえ、各学校が家庭や地域の代表と協議した上で、学力向上の方策について策定する計画のこと。

### ⑤体力向上プラン

→ 児童生徒の体力や生活習慣等の実態を踏まえ、体力向上に向けて体育主任等を中心とした全教職員による組織的取組を進めるための計画のこと。

### ⑥不登校対策プラン

→ 児童生徒の不登校等の実態を踏まえ、不登校の未然防止、初期対応、復帰支援に向け組織的取組を進めるための計画のこと。

## 《8つの観点》

1. 学校の喫緊の課題を十分検討した上で、課題と重点目標を対応させること
2. 取組指標は、実際に取り組むことによって、児童生徒が変わり、重点目標達成に近付くことがイメージできる具体的なものとする
3. 「学校評価の4点セット」(重点目標、達成指標、重点的取組、取組指標)が、全ての教職員に共有されるよう、会議での取り上げ方等を工夫すること
4. 検証に当たっては、①取組指標に基づく取組状況をまず確認し、その上で、②その取組により重点目標達成に近付けたかを検証し、年度の中でも取組指標、重点的取組、達成指標を改善していくこと
5. 目標管理制度と能力評価制度の連動、及び学校の重点目標・分掌等目標・自己目標の連動により学校の組織力の向上等を図る教職員評価システムの趣旨を一層徹底すること
6. それぞれの重点目標の達成を担う主任等を明らかにし、責任を与えること
7. 意思決定がより効率的・効果的に行われるよう、運営委員会や職員会議で扱う議題の整理や、職員会議によらない周知・徹底の工夫等を行うこと
8. 主任制度・主任手当の趣旨が伝わるよう、人事異動に係る職員面談や年3回の目標管理面談等の中で、主任手当の拠出の状況について確認するとともに、法令の趣旨に則った指導を行うこと